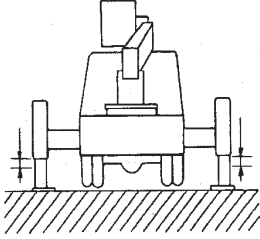
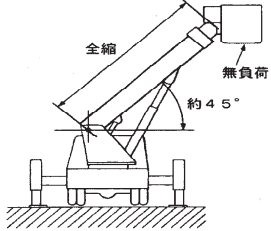
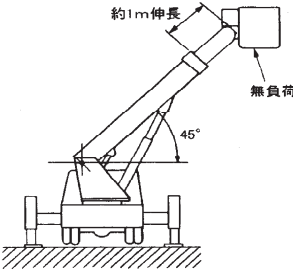


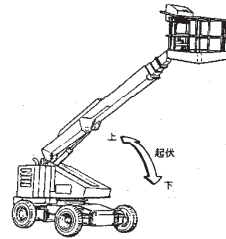
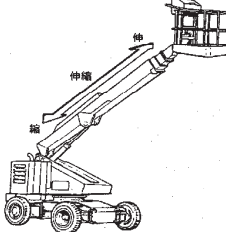
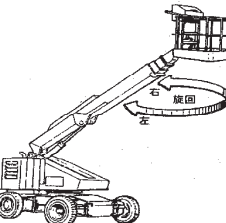
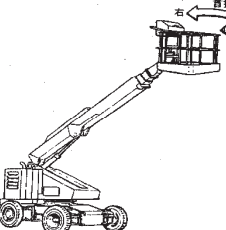
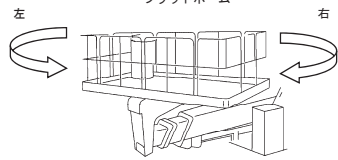
アイチコーポレーション

適 用 範 囲		モ デ ル 名		SV05CNS	SV06CNS	SV06CNL	SV08CNL
		適用号機		STD	STD	STD	STD
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検 査 基 準 値		
電 動 機	駆動用ベルト	駆動用チェーンのたわみ		mm	—	—	—
	バッテリー	電圧		V	24	24	24
	充電装置	電圧検出リレーの作動電圧		V	28.8	28.8	28.8
	ヒューズ	走行・上昇主回路用		A	200	200	200
		制御主回路用		A	10	10	10
	ブレーカ	主回路用ブレーカ		A	—	—	—
	ホイール	ニューマチックタイヤ	空気圧	MPa (kg/cm ²)	—	—	—
		ソリッドタイヤ	摩耗量	—	状態により判断	状態により判断	状態により判断
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間		mm	—	—	—
最低停止保持勾配		°	14	14	14		
作業装置	マスト	スライディングパッド部がた	マスト上側	mm	—	—	—
			マスト下側	mm	—	—	—
		スライディングパッド 摩耗量		mm	—	—	—
油 圧 装 置	油圧ポンプ	昇降	吐出圧	MPa (kgf/cm ²)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)
			※作動油	—	VG22	VG22	VG22
			油温	℃	40±10	40±10	40±10
		操舵	吐出圧	MPa (kgf/cm ²)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)
			※作動油	—	VG22	VG22	VG22
			油温	℃	40±10	40±10	40±10
		メイン	吐出圧	MPa (kgf/cm ²)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)
			※作動油	—	VG22	VG22	VG22
			油温	℃	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダー	自然降下量	リフトシリンダー	mm/10min	2	2	2
安全装置	車体傾斜角警報装置	作動角度	前後方向	°	2±0.5	2±0.5	2±0.5
			左右方向	°	2±0.5	2±0.5	2±0.5
	過積載防止装置	作動重量		N (kgf)	3138 (320)	2647 (270)	4216 (430)
	作業床規制装置	格納検知		—	○	○	○
		走行規制検知		—	—	—	—
		上限規制検知		—	○	○	○
総合テスト	作動速度	昇降	上昇	s	20±4	30±6	30±6
			下降	s	20±4	30±6	30±6
		走行	高速	km/h	4.5±0.7	4.5±0.7	4.5±0.7
			低速	km/h	0.8±0.1	0.8±0.1	1.0±0.2

ホイール式（蓄電池式）

SV08CWL	SV10CWL							
STD	STD							
検 査 基 準 値								
—	—							
24	24							
28.8	28.8							
200	200							
10	10							
—	—							
—	—							
—	—							
状態により判断	状態により判断							
—	—							
—	—							
14	14							
—	—							
—	—							
18.1 (185)	18.1 (185)							
VG22	VG22							
40±10	40±10							
18.1 (185)	18.1 (185)							
VG22	VG22							
40±10	40±10							
18.1 (185)	18.1 (185)							
VG22	VG22							
40±10	40±10							
2	2							
2±0.5	2±0.5							
2±0.5	2±0.5							
5295 (540)	5295 (540)							
○	○							
—	—							
○	○							
50±10	50±10							
40±8	40±8							
3.6±0.5	3.6±0.5							
0.8±0.1	0.8±0.1							

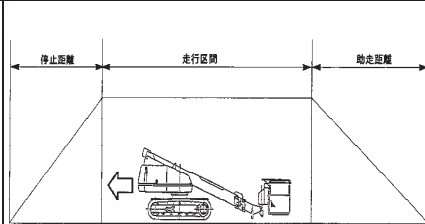
※ 1. シリンダー自然降下量 1. ジャッキシリンダー 〔測定要領〕 1) 車体を水平堅固土上にセットする。 2) エンジン停止させる 3) ジャッキレバーを「入」に数回操作し、残圧を抜く 4) ジャッキポストにマーキングまたは、ダイヤルゲージをセットする 5) 1分後、0点を合わせる 6) 10分経過させる 7) 自然降下量を測定する (前右、前左、後右、後左) 〔判定基準〕 ジャッキポストのストロークにて 1mm 以内/10 分	
2. 起伏シリンダー 〔測定要領〕 1) ブームを起伏各 45° にセットする 2) エンジン停止させる 3) 起伏シリンダーのロッドにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする 4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる 5) 10 分経過させる 6) 自然降下量を測定する 〔判定基準〕 ピストンロッドのストロークにて 2mm 以内/10 分	
3. 伸縮シリンダー 〔測定要領〕 1) ブームを起伏各 45° にセットする 2) ブーム長さを 1m にセットする 3) エンジン停止させる 4) 第 2 ブームにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする 4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる 5) 10 分経過させる 6) 自然降下量を測定する 〔判定基準〕 第 2 ブームのストロークにて 2mm 以内/10 分	

※ 2. 速度測定方法 〔測定要領〕 1) 車体を水平堅固土上にセットする。 2) 作業車の作業範囲に障害物が無いことを確認する 3) 油温は 40±10℃で行なう 1. ブーム起伏速度 1) ブーム全縮状態で、起伏下操作により「下」エンド下げる 2) 起伏上操作にて「上」エンドまでの時間を測定する 7) 自然降下量を測定する (前右、前左、後右、後左)	
2. ブーム伸縮速度 1) ブームを全縮状態で起伏上操作により「上」エンドまで上げる 2) 伸縮操作により「伸」エンドまでの時間を測定する 3) 縮操作により「縮」エンドまでの時間を測定する	
3. ブーム旋回速度 1) ブームを全縮、起エンドの状態にする 2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する 3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう	
4. 首振り速度 1) 首振り操作にて右エンド～左エンドまでの作動時間を測定する 2) 首振り右操作、左操作共に行なう	
5. プラットフォーム旋回速度 1) ブームを全縮、起エンドの状態にする 2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する 3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう	

※3. 走行速度測定方法

〔測定要領〕

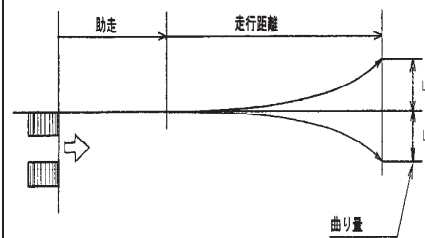
- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
 - 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する
 - 3) 車両が最大速度になるまで助走させる
 - 4) 速度が安定した走行区間の速度を測定する
- ※ブームの姿勢や切り替えスイッチを切り替え「高速」、「低速」を



※4. 走行直進性測定方法

〔測定要領〕

- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
- 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する
- 3) 車両が最大速度になるまで助走させる
- 4) 最高速度で約10m走行させ曲った距離を測定する

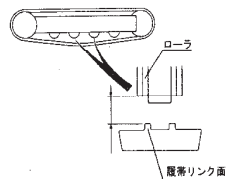


※5. 履帯たわみ測定方法

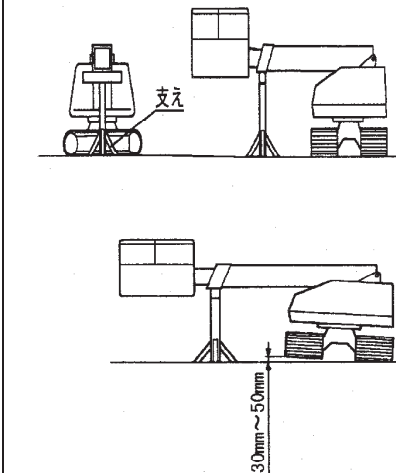
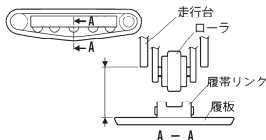
〔測定要領〕

- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
- 2) 第1ブーム先端部に支柱セットする
- 3) ブーム「伏」操作を行い履帯を地面から30mm～50mm浮かせたわみ量の測定をする

1. SR10A, SR12B
SR18/21A スペック (AQ*, AQ***)



2. SR18/21A スペック (*S***)



※6. 作業半径測定方法

〔検査機器〕

1. 角度計
2. 巻尺
3. 重垂
4. 水系

※測定値や測定方法はモデルによって異なります
また同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても異なります

〔測定例 L-MAX〕

※測定はL-MAX（ブーム全伸長）の他にL-MIN（起伏角水平）があります。
詳細はサービスマニュアルを参照してください

- 1) 車両を水平堅土上にセットする
- 2) ジャッキにより全タイヤを地切りさせる
- 3) 車体は前後左右水平にセットする
(張り幅によって測定値、測定方法が異なります)
- 4) バケットにウエイトを積載する
(機種、仕様により異なっているので各機種のデータを参照のこと)
- 5) ブームの操作は下操作で行なう
- 6) ブーム操作は低速にて行なう
- 7) ブームが自動停止した作業半径を測定する
- 8) 規定の作業半径（最大許容作業半径）に達しても、ブームの作動が停止しない場合は操作をやめ、作業半径が大きくなる側への操作は絶対に行なわないこと
- 9) 測定後ブームを操作する際は、ブームを全縮にした後、旋回操作を行なうこと

